

## プロダクトデザイン科

## コンセプトワーク

|      |           |     |    |      |   |    |             |     |    |    |   |
|------|-----------|-----|----|------|---|----|-------------|-----|----|----|---|
| 対象   | 2年次       | 開講期 | 前期 | 区分   | 必 | 種別 | 講義          | 時間数 | 30 | 単位 | 2 |
| 担当教員 | 栗山リースナー佳子 |     |    | 実務経験 | 有 | 職種 | グラフィックデザイナー |     |    |    |   |

## 授業概要

あらゆるデザイン制作がコンセプトを基に進められることを理解し、簡潔な言葉を用いた自己のデザインの方向性を表現できる様になる。様々な発想法を学びながら利己的な表現からの脱却と、第三者の為に必要な独創性の高いデザインを探究する。伝達力と有用性の高いデザイン・コンセプトを構築し、実践社会で活用する事がねらいである。

## 到達目標

コンセプトを基に企画、制作し、実践社会で活用できる独創的魅力的デザイン力を身につける。伝わるコンセプト制作を通して、一貫性のあるデザイン・シンキングと第三者へ伝達する為に必要なコミュニケーションワークができるようになることを目標にしている。

## 授業方法

前半はマインドマップ、NM法で基本的な発想法を理解し、ブレーンストーミング&KJ法ではグループワークでの問題点の抽出やリサーチの方法を学修する。後半は前半で学修した発想法を展開し、説得力のある実践的なデザイン・コンセプトを立案、そのデザイン・プロセスをプレゼンテーションにて発表する。

## 成績評価方法

提出物20%課題の提出状況について評価する。  
グループワーク30%グループ課題の提出・発表について評価する。  
個人ワーク40%個人課題の提出・発表について評価する。  
平常点10%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

## 履修上の注意

授業内の提出物、プレゼンテーションを含むグループ・個人課題の全提出者を採点基準とする。また、授業時間数の4分の3以上出席しない者は評価を受けることができない。

## 教科書教材

レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

| 回数  | 授業計画               |
|-----|--------------------|
| 第1回 | コンセプトワークオリエンテーション  |
| 第2回 | コンセプト実例～NM法演習      |
| 第3回 | グループワーク／オリエンテーション① |

|      |                   |
|------|-------------------|
| 第4回  | グループワーク／コンセプトの発想② |
| 第5回  | グループワーク／コンセプトの発想③ |
| 第6回  | グループワーク／コンセプトの発想④ |
| 第7回  | グループワーク／コンセプトの発想⑤ |
| 第8回  | グループワーク／コンセプトの発想⑥ |
| 第9回  | 個人ワーク／オリエンテーション①  |
| 第10回 | 個人ワーク／情報収集と現状分析②  |
| 第11回 | 個人ワーク／コンセプトの発想③   |
| 第12回 | 個人ワーク／コンセプトの展開④   |
| 第13回 | 個人ワーク／コンセプトの発表1⑤  |
| 第14回 | 個人ワーク／コンセプトの発表2⑥  |
| 第15回 | コンセプトワークのまとめ      |